

自己評価報告書(最終報告)

報告者

芸術系コース(美術)
／松島 正矩

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

Ⅰ. 学長の定める重点目標

Ⅰ－1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれている必要がある。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

①専門の実技、演習科目の授業においては、作品提出の度に講評を行い、自分の作品がどのレベルにあるのか、どこを改善すればよくなるのかを指摘し、各自のよい部分を伸ばしていくように指導する。これにより、学校現場での実践の際も、自信を持って生徒たちを教えることができるようになると思われる。
②教育実践コア科目の授業では、主体的に取り組む必要のある課題を出すことにより、自ら動くことの大切さを学んでもらう。さらに、学生が積極的に授業に参加するよう、討論する時間を取り入れて授業内容を構築する。

2. 点検・評価

①専門の実技、演習科目の授業においては、作品提出の度に講評を行い、自分の作品がどのレベルにあるのか、どこを改善すればよくなるのかを指摘し、各自のよい部分を伸ばしていくように指導した。これにより、学校現場での実践の際も、自信を持って生徒たちを教えることができるようになると思われる。
②教育実践コア科目の授業では、主体的に取り組む必要のある課題を出すことにより、自ら動くことの大切さを学んでもらった。さらに、学生が積極的に授業に参加するよう、討論する時間を取り入れて授業内容を構築した。
以上、予定通りの進捗であった。今年度は、特別公開授業を担当することになり、コンピュータを使用した構成作品制作を参観してもらった。完成した作品について単に講評を行うだけでなく、学生に自分の制作意図を自分の言葉で語ってもらうようにしたため、学生は積極的に授業に参加してくれた。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

①授業時間やオフィスアワーに限らず、研究室に在室する時は、学生の専門分野に関する質問、進路、悩み等の相談等に気軽に応じるよう努める。
②学生に各種公募展やグループ展へ出品するよう促し、学生の創作意欲を高め、実績づくりを支援する。

2. 点検・評価

- ①授業時間やオフィスアワーに限らず、研究室にいるときは、学生の専門分野に関する質問、進路、悩み等の相談に気軽に応じた。
- ②学生に各種公募展やグループ展へ出品するよう促し、学生の創作意欲を高め、実績づくりを支援した。これも予定通りの進捗であった。指導している学生は公募展やグループ展へ出品し、それが、修了制作へと発展していった。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ①デザイン分野の修了生を中心とした4回目のグループ展を企画し、これに向けての作品づくりに励む。
- ②例年参加している日本基礎造形学会、アジア基礎造形連合学会において作品発表を行い、新しい表現を追究した制作活動を行う。

2. 点検・評価

- ①デザイン分野の修了生を中心とした4回目のグループ展を企画し、進行中である。
- ②例年参加している日本基礎造形学会において作品発表を行った。また、韓国基礎造形学会から作品発表の依頼があり、韓国で作品発表を行った。
学内で教員が作品発表することは珍しいのであるが、同時に定年退職する2人とともに「退職3人展」という展覧会を芸術棟ギャラリーで開催し、ギャラリートークを行った。学長先生をはじめとして大勢の方々に鑑賞していただき好評であった。予定以上の成果をあげたと感じている。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①委員として学内の各種会議に出席し、職務を遂行する。
- ②美術コース教員の採用人事、昇任人事が何件か承認されると思われるので、積極的にこれに関わり、よい人選ができるよう努めたい。

2. 点検・評価

- ①委員として学内の各種会議に出席し、職務を遂行した。
- ②穴吹高等学校で開催された進路ガイダンスに出席し、鳴門教育大学の説明を行った。
以上、予定通りの進捗であった。特に時間を拘束されて大変であった学部入試委員会においては、試験班班長として試験問題を点検、かなりの部分を修正し試験に間違いがおこらないように努めることができた。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①附属学校で行われる授業研究会にできるだけ参加して指導助言する。(附属学校)
- ②県や市から依頼される, 各種コンクールの審査やデザインに関わる選定に積極的に関与する。(社会)
- ③指導している中国からの留学生(M2)が, 他の学生と同等の学習環境を享受できるよう支援する。(国際交流)

2. 点検・評価

- ①附属中学校で行われた授業研究会に参加して指導助言を行った。(附属学校)
- ②徳島市都市整備部まちづくり推進課と市民環境部生活環境課から依頼され, 2件の図画コンクールの審査を担当した。(社会連携)
- ③指導している中国からの留学生(M2)が, 他の学生と同等の研究環境を享受できるよう, 様々な支援を行った。(国際交流)
これも予定通りの進捗であった。留学生は鳴門ゾンタクラブ奨学金を獲得できた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

- ①鳴門教育大学創立30周年記念誌「未来の教育を創る」の表紙デザインを担当し, 好評を得た。
- ②「知恵の板」を用いた造形教育 という題目で教員免許状更新講習を行った。
さらに, FD推進事業の一環である特別公開授業において, コンピュータを使用した構成作品の制作を参観してもらった。予定以上の成果をあげたと思っている。